

**理研シンポジウムのご案内**  
**「イオンビーム品種改良プラットフォームの形成」**

開催日時：2018年1月25日(木) 13:30～17:30 (懇親会 18:00～20:00)

1月26日(金) 10:00～12:00

場所：国立研究開発法人理化学研究所和光研究所 鈴木梅太郎ホール

主催：国立研究開発法人理化学研究所 (応用研究開発室 生物照射チーム)

共催：若狭湾エネルギー研究センター

後援：量子科学技術研究開発機構

\*\*\*\*\*  
現在、理研-量子科学技術研究開発機構 (量研) -若狭湾エネルギー研究センター (若エネ研) は、SIPの支援を受けて、イネ (日本晴品種) をモデルとして、それぞれの加速器施設が得意とする照射条件を用いて、イオンビーム育種技術の体系化に取り組むとともに、変異統合データベースを構築している。SIP終了後もイオンビーム育種の体系化に関して研究体制を強化するため、理研は量研と若エネ研と協力して、イオンビーム品種改良プラットフォームを形成する。イオンビーム品種改良プラットフォームでは、これまで経験則であった照射技術を一般則とすることを最終的な目的とする。その過程で、それぞれの加速器施設において得意とする照射技術に関して、更に変異誘発を効率化する技術などを協力して提案・開発する。これらを通じて、イオンビーム育種技術を更にユーザーフレンドリーとし、産業利用を促進する。

\*\*\*\*\*

**2018年1月25日(木)**

SIPの取組み (10分)

13時30分～イオンビーム品種改良プラットフォームの形成 阿部知子 (理研)

13時40分～14時20分 理研 RIBF

加速器施設・生物照射装置および誘導する変異の特長 阿部知子 (理研)

全ゲノム解析で明らかにしたLETによる変異誘発の顕著な違い 風間裕介 (理研)

14時20分～15時20分 量研 TIARA

加速器施設・生物照射装置とイオンビーム変異誘発研究 大野 豊 (量研)

炭素イオン照射したシロイヌナズナの乾燥種子と幼苗に生じたと突然変異の比較  
長谷純宏 (量研)

産業微生物のイオンビーム育種 佐藤勝也 (量研)

量研の外部利用制度の紹介とその成果 野澤 樹 (量研)

15時20分～15時40分 休憩

15時40分～16時50分 イネ育種

コシヒカリに対するイオンビーム育種技術の適応 奥本 裕 (京都大学)  
ゲノム編集技術を用いたイネ新品種の育成 小松 晃 (農研機構)  
16時50分～17時30分 若エネ研 W-MAST  
加速器システム、およびそれを用いた育種研究  
- 照射初期の組織応答解析とその育種への応用可能性 - 高城啓一 (若エネ研)  
地域と連携したイオンビーム育種研究の成果 畑下昌範 (若エネ研)

18時～20時 研究交流会 (広沢クラブ)

## 2018年1月26日 (金)

10時～11時 地域産業の活性化に向けて  
‘サザンチェルシー’薄黄色変異体への重イオンビーム再照射による花色変異体の作出  
玉利光男 (鹿児島県)  
重イオンビーム照射によるキクの新品種育成 久村麻子 (長崎県)  
メタボローム解析によるキク花色変異幅の予測 平井優美 (理研・環境)  
11時～11時20分 企業の取組み 花きの品種改良 鈴木賢一 (サントリーフラワーズ)  
11時20分～11時40分 変異統合データベースの構築 渡邊 康 (理研)  
11時40分～12時 総合討論

当日参加も可能ですが、事前申込頂けると名札を作成します。

懇親会 (2次会) は事前申込が必要です。1月12日までに事前申込下さい。

\*\*\*\*\*

理研シンポジウム参加申込書 (ユーザー用)

ご氏名

ご所属

参加日 1月25日、1月26日

懇親会 参加/不参加

2次会 参加/不参加 (和光市駅前)

\*\*\*\*\*

[問い合わせおよび参加申込先]

国立研究開発法人理化学研究所 生物照射チーム

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1

Tel. : 048-467-8994

e-mail: ion-breeding@riken.jp